

長久手人

File No. 15

長久手人の氏名

ミズタ ヨウヘイ
水田 洋平

活動内容

空手で、人生を「豊か」に！

Q1 活動内容と始めたきっかけは？

子どもの頃から、空手の指導者である父親から空手を習い、体のことを考える楽しさを実感し、理学療法士になりました。理学療法士として働く傍ら、その知識やスキルを役立てたいと、淳風会長久手支部にて、週に3日子どもから大人まで、幅広い年代の方に空手の指導をしています。

空手を通して、体を上手に使うための基本動作はもちろん、礼儀作法や人との付き合い方を学び、人生を豊かなものにしてほしいという想いをもって指導にあたっています。

Q2 「この」活動の「ここ」が面白い！ やりがいがある！と思う事は？

生徒のみんなが、本気になって空手に取り組む顔を見ると、成長が実感でき、とても嬉しく感じます。
同時に、特に、子どもにとっては、運動神経が発達する大事な時期であるし、頭（脳）も使って練習することも意識しています。子どもの成長に大きく関わるため、責任感を持って指導にあたっています。

Q3 ずばり！ あなたが考える「幸せ」とは？

子どもにとっての「幸せ」は、子どもたちが、目がキラキラと輝かせ、生き生きと暮らすことができることだと思っています。空手のコミュニティの中で、多世代とつながることによって学んだことを、家庭、学校、職場などで活かし、豊かな人生を歩んでもらいたいと思っています。

Q4 フリーメッセージ (例)将来の目標、まちへの想いなど

長久手に生まれ育ち、長久手のことが大好きです。
生徒のみんなには、空手の道場を越えて、住んでいる地域でのつながりから、市町を越えたつながりなど、広くつながりをつくってほしいと思い、空手の指導を通してそのお手伝いをしています。
まさに、まちづくりは人づくりです！



取材時に、ご自身の信念などを書かれた手帳を見せていただきました。



子どもたちへの指導の様子

取材者(ともこさん)のコメント

キリッとしたまなざしが印象的で、空手の理念を強く信じ学び体幹はもちろん、心もぶれない生き方をされている方だと感じました。空手道場は、会員さんと一緒に運営されていますが、師弟関係をしっかり保つ環境での活動は、水田さんの信念を持った姿勢があるからこそ、繁栄されているのかなと思いました。これからも空手を通して生き生きとした子ども達を1人でも多く育ててほしいです。